

報道関係者各位

2026年5月15日

「炊き立てごはん」が組織を変える
～コミュニケーション不足が課題の時代に挑む「おなかま制度」～
炊き立てご飯を無償提供で社内コミュニケーション不足を解消
「炊き立てごはん」がつくる職場のつながり 自然な対話が生まれる企業文化へ
新福利厚生制度 2026年5月スタート



Dashi Corporation 株式会社（本社：東京都品川区／代表：水野 勉）は、2026年5月より新たな福利厚生制度として、昼休みに社員が炊いた「炊きたてのごはん」を社員へ無償提供する「おなかま制度」を開始いたしました。

“同じ釜の飯を食べる”という言葉には、時間と体験を共有することで生まれる信頼や一体感という意味が込められています。当社はこの言葉を現代的に再解釈し、「同じ釜」と「仲間」を掛け合わせ、共食でコミュニケーション課題に挑む新たな福利厚生制度として導入いたしました。

制度導入の背景・・・温かいご飯を囲む時間で自然な対話を生み出す

働き方の多様化により、社内コミュニケーションの機会は減少傾向にあります。

オンラインで業務は完結する一方で、偶発的な会話や世代を超えた交流は生まれにくい状況です。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

Dashi Corporation 株式会社 担当：品田 歩 03-5759-8557 / ayumi-shinada@dashi-corp.com

当社は「食事の共有」が持つ心理的効果に着目しました。

温かいごはんを囲む時間は、役職や部署を越えた自然な対話を生み出します。

「おなかま制度」とは

■ 炊きたてごはんを昼休みに提供

毎営業日、オフィス内で炊き上げたごはんを社員へ提供します。

■ おかずは持参・自由参加

おかずは各自持参。参加は任意とし、気軽に利用できる仕組みとしています。

■ 部署横断の交流促進

役職・部署に関わらず、同じ空間で食事をするすることで、自然な対話を促します。

制度に込めた想い

「おなかま制度」の目的は、単なる食費補助ではありません。

物価上昇、とりわけ米価格の高騰は、日常生活に直接影響を及ぼしています。社会に出たばかりの世代にとっても、食費の負担は決して小さくありません。

「おなかま制度」は、単なるコミュニケーション施策ではなく、社員一人ひとりの生活を支える“実効性のある福利厚生”として設計しました。経済的安心と心理的安心、その両立を目指しています。

- ・ 心理的安全性の向上
- ・ 組織内コミュニケーションの活性化
- ・ 若手社員の孤立防止

といった組織的価値の創出を目指しています。



< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

Dashi Corporation 株式会社 担当：品田 歩 03-5759-8557 / ayumi-shinada@dashi-corp.com

今後の展望

今後は、

- ・ 地域産米の活用
 - ・ 月替わりテーマ企画（例：地元応援デー）
 - ・ 社内アンケートによる改善
 - ・ 得意先様が作られている“ごはんに合う副菜”の導入による得意先様の勉強の機会の提供
- など、制度を進化させていく予定です。

“同じ釜の飯を食べる”という日本の文化的価値を、現代の企業経営の中で再定義する取り組みとして発信してまいります。

Dashi Corporation 株式会社について

Dashi Corporation 株式会社は、鰹出汁をはじめとする天然調味料の企画・販売をおこなう開発型企業です。創業から半世紀の技術と経験を有し、「Dashi」を世界語にするというミッションを掲げて事業を展開しています。国際基準の食品安全性を担保し、天然素材にこだわり、他社が追随できない品質やフレーバーを追求。また、枕崎の鰹節生産者ととも産地の価値を高め、日本の出汁文化を世界に広めるさまざまな事業活動を行っています。

【会社概要】

社名：Dashi Corporation 株式会社

本社所在地：東京都品川区西五反田 2-10-8 ドルミ五反田ドゥメゾン 206 号

代表取締役：水野 勉

事業内容：出汁を中心としたエキス・調味料の製造販売

商品・サービス：アルコール抽出をした鰹節だし

設立：1974 年

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

広報担当者：品田 歩（シナダ アユミ）

電話番号：03-5759-8557

メールアドレス：ayumi-shinada@dashi-corp.com

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

Dashi Corporation 株式会社 担当：品田 歩 03-5759-8557 / ayumi-shinada@dashi-corp.com